

## 障害者って気づいたのはいつ？

### 障害者の自覚

みなさんはどのような障害を知っているだろうか。最近では、障害の中でも特に発達障害が注目されているように感じる。発達障害というと ADHD や ASD などがあるが、ADHD や ASD といった発達障害は見た目には分かりにくく、気づかれにくい。しかしそれとは反対に、肢体不自由やダウン症などでは、見た目で障がいがあることがわかりやすい。ほとんどの人々は障害のあるなしを最初に見た目で判断すると思うが、当事者である障害者本人は自分が障害者であることをどのようにして気づくのだろうか。

今回は1例として「つよさんぽ。」という YouTube チャンネルの動画を視聴した。動画は2本視聴し、どちらも脳性麻痺をお持ちの伊藤圭子さんが動画投稿者と話しているものである。

### いつ気づいた？

<https://youtu.be/s2iHOC4GDoA?si=O9K8NAI-FN5XSKh2>

1本目の動画では、「障害者と気づいたのはいつ？」という質問に伊藤さん自身の生い立ちを振り返りながら答えていた。最初に「他の子供と違うかも」と違和感を感じたのは5歳くらいの時だったそうで、親戚の集まりで従兄弟が「なんで歩けないの？」と聞いてきたことがきっかけだと話されていた。その後、小中学校と進学した際には支援学校に進学したことで周囲に障害者が多い生活をしたり、障害のない近所の友達と遊んだりしていたが、違和感があるものの自覚ははっきり持っていない状態だったようである。はっきりと自分が障害者であると意識し始めたのは、高校3年生の時に見たテレビ番組らしい。番組の中で、伊藤さんと同じような車椅子の方が紹介されており、「私はこれなんじゃないか」と思ったと語っていた。

この動画を視聴して、障害者の自覚を持つまでに想像以上に時間がかかっていると感じた。伊藤さん本人はずっと一人の人間として生きているという意識が大きく、違和感があったものの自覚まで至らなかったのではと考えた。「一人の人間である」というのは誰もが持っている感覚で、当然の意識である。これに違和感を感じる理由はなんなのだろうか。

### 不思議な視線

<https://youtu.be/mtFkOhWsjWk?si=ajC2rD7qUOJJYJXr>

2本目の動画を見てみると、「他の人と違う」とか「辛いと思ったこと」のように障害を持たない人と比べた時に感じたことを話されていた。伊藤さんの両親は他の子と同じように普通に育てると決めていたようで、遊園地やプールにも連れて行ってもらっていたそう。プールに行った時には、伊藤さんを床に寝せて着替えをしたり、抱っこしてプールに移動したりと、周囲からは目立ってい

た。周囲の人からは「不思議な視線」を感じ、この視線が嫌で「外に出たくない」「家にいたい」と母親に訴えたことがあると語っていた。このことについて、母親が諭す様子も語られており、伊藤さんの持っていた夢や性格などが関係していたが、今回は触れないでおく。気になる人は見てみてほしい。また、この「不思議な視線」について最近では感じるものが減ってきたとも語っていた。感じる時は伊藤さんよりも年上の60歳前後、またはそれ以上の高齢者が多く、「何か特別なことをしてあげないと」と思われていると話していた。実際に伊藤さんは、居酒屋の知らないおじさんやホームレスからお金を渡された経験があるらしい。笑い話として話していたが、その当時はどうのように感じていたのかわからない。

「不思議な視線」というのは、いわゆる他の人とは異なることによる冷ややかな目線ではないかと考えた。子供は正直だから直接的に聞いてくるが、親が「そんなこと聞くんじゃない」ということが多いらしい。そういった場面を想像はできるが、その言葉の根本には「障害者はかわいそう」という考えがあるように感じられる。彼女たちはかわいそうだろうか。

## 違いはどこに

2本の動画を視聴して、当事者の障害者観を知ることができた。もちろん、例として一人しか見えていないから一概に全員が同じであるとは言えないが、障害者に対する考え方が変わる人も多いのではないだろうか。この動画でキーワードに感じたのが「不思議な視線」である。今回取り上げた伊藤さんは車椅子を利用している脳性麻痺者で、人との違いが見える状態にある。しかし、他人と違う部分は誰しもが持っているはずだ。それが他人に見えるものかどうか、確かにこれには大きな差があるが、同じ人間である。違いがあるのが人間。障害について知っていれば視線は変わるだろうし、関わる経験を持っていれば行動も変わる。今は、インターネットで知ることができる時代になっている。今回のように動画を投稿している人もいる。興味を持ってもっと理解のある社会になってほしいと思う。